

NPO 京都コミュニティ放送
第 109 回 番組審議会 議事録

開催日時：2017 年 2 月 28 日（火）10：00～11：30

会 場：京都市中京区三条烏丸 烏丸ビル 2F Flag 三条

委員総数：7 人 出席：5 人 欠席：2 人

出席委員：山本時子 中村正 松浦さと子 竹下清 福井秀彦 ジェフ・バーグランド

欠席委員：岡本卓也

局側委員：町田寿二 松岡千鶴 (順不同敬称略)

ゲスト 「はるのと京子の乙女な時間」(毎週土曜日午後 11 時～放送の 15 分番組)
番組オーナー 宮川はるのさん 大仲京子さん

■審議番組

「はるのと京子の乙女な時間」(毎週土曜日 午後 11 時から放送の 15 分番組)

番組オーナー：宮川はるのさん 大仲京子さん

京都に暮らす 2 人の乙女が、日々の事や、人とのつながり、ご縁、恋話など織り交ぜて、時にはゲストと共に、楽しいトークをお届けする番組

■番組審議

冒頭、番組オーナー宮川はるのさん、大仲京子さんから番組趣旨の説明があった。京都に生まれ育ったお茶屋の女将。全国の方に京の風習、生活ぶりを発信するのが目的。芸妓さんや舞妓さんの話ではなく、京暮らしの日常を伝えたい。

2017 年 2 月 11 日第 20 回の番組を聞いて審議に入った。

- ・ゲストが来る時もあるのか？
- ・交互にしている。2 人、男性ゲスト、2 人、女性ゲストという様に。(はるの)
- ・プロのお 2 人。ボケ突っ込みの役割を交代しながらのトークは、聞いている人が寄って行きたくなる楽しい雰囲気。
- ・春の光の話は表現が素晴らしい。それだけに話し手はお茶屋の女将というヒントが欲しい。
- ・「天気予報で天気を思うのではなく、自分の目で上を見て横を見て、自ら聴く耳、見る目を持つ」という話が良かった。
- ・間(ま)が良い。
- ・「今日はお稲荷さんか?」「おおきに」というようなやり取りが自然に出る雰囲気。
- ・資料を読むときに音量が下がる。
- ・シナリオがあるのか？
- ・簡単に要点を書いている。殆どがアドリブ。(京子)
- ・お 2 人の違いが分かるよう、たまに意識して名前を呼び合うと良い。
- ・内容が練られている。賢さが 15 分の中に出ている。
- ・花街だけの話なら、決まった話題だけで 1 年が終わってしまう。長寿番組にしたいので、知っているようで知らない話も取り混ぜながら続けていきたい。また、「乙女」は「乙な女」という意味であることを知ってほしい。(はるの)

- ・人は学習して成長する。豆知識は有効な方法。若い世代にもお茶屋文化の魅力を知ってほしい。
- ・「ポチ袋」や「京おどりのチケット」などを番組でプレゼントして目で見えて感じてもらう工夫をしている。(はるの)
- ・時事問題は扱わないのか。
- ・お茶屋の仕事では政治、野球の話題はタブー。番組も同じ。(京子)

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は2017年3月15日から事務所で閲覧できるようにした。
この審議会の議事録は2017年3月15日からホームページで公開した。